

意見交換会報告 1

連合会と国土交通省との意見交換会

社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

全国土木施工管理技士会連合会（以下「連合会」という。）は、平成23年11月2日（水）東京都千代田区霞が関ビル35階「朝日の間」で国土交通省との意見交換会を開催した。

当日は、佐藤技監、深澤官房技術審議官、横山技術調査課長他幹部が出席された。

佐藤技監は、「災害等が発生したときに真っ先に駆けつけるのが、地元の建設業のメンバーであり、また発注者と受注者は良きパートナーであり、良いものを造りタイムリーに供給するのが目的」と述べられた。

連合会からⅠ．技術者の技術力向上、Ⅱ．現場の改善の2点について提案した。意見交換会では、連合会から、Ⅰ．技術者の技術力向上においては、事業仕分けで「義務としての監理技術者講習の廃止」という評価結果を受けて開催した国土交通省の「技術者制度検討会」でのとりまとめ結

果より、技術者データベースをつくり、更新要件として検討されている選択肢について提案し、継続教育（CPDS）の活用を求めた。

Ⅱ．現場の改善においては、設計変更ガイドラインの末端技術者までの周知と改訂すること、設計変更金額を現場着工前に提示すること、実質的に書類が減っていると感じていないとアンケート意見の多かった提出書類の見直しなどについて提案した。また、平成24年度に発注者・受注者双方が現場状況を定量的に明らかにするアンケート調査を協力して行うことを提案した。

国土交通省からは、それぞれ大事な問題だと認識しており、もっと現場と事務所で意見交換会などを開催し、お互いコミュニケーションが出来ていれば解決できるものと思っていると述べられた。

最後に、自由討議では、若い技術者の雇用問題等について、話し合われた。



佐藤技監挨拶



小林会長挨拶